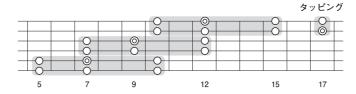


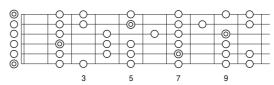
### 高速オブリ・パートの スケールを頭に入れよう

リフと高速オブリの切り替えを上手にこなすた めには、まずオブリのスケールを頭に入れておく ことが大切だ。2 小節目は、E マイナー・ペンタ トニックで、1本弦につき3音のワイド・ストレッチ・ ポジションとなっている (図 1-a)。5 & 6 弦、3 & 4 弦、1 & 2 弦のセットで同じ指伸いになるので、 この3セットを分けて覚えると良いだろう。6弦10 フレットの次に同じD音である5弦5フレットが来 るなど、少し変わった音使いになっている。ちな みに、このリフは E ドリアン・モードだが、E マイ ナー・ペンタは E ドリアンに含まれているため、ド リアン・モードのリフでも、こうしてマイナー・ペン タを組み込むことができるのだ。4小節目は通常 の E ドリアン・スケール (図 1-b) で、D メジャー・ スケールと同じポジションになっている。

### 図1-a Eマイナー・ペンタトニック・ワイド・ストレッチ・ポジション



### 図1-b Eドリアン·スケールのポジション



※ポジショニングはDメジャー・スケールと同じ。





## オブリへの切り替え時に リズムの崩れに注意!

このフレーズを弾く際には、リズムを理解す ることが大切だ。1&3小節目のリフは8ビー トで、2&4小節目は6連符となっている。こ のリフからオブリへの切り替え時にリズムがわ からなくならないように、テンポを変えること なくしっかりとフレーズをつなげよう。続いて 注意してもらいたいのが、2小節目4拍目のワ イド・ストレッチ&タッピング・フレーズだ。3 拍目の小指による1弦15フレットのハンマリン グから1弦17フレットのタッピングに移るが、写 真①&②)、ここは32分音符となっているので、 タッピングが入るタイミングをしっかりと合わせ よう。また、その直後の8ビートのリフにしっ かりと戻れるように注意しておくことも大切だ。



小指によるハンマリング。しっかりとストレッチする。



右手によるプリング。32分に変化するリズムに注意しよう。



タッピング時、左手の押弦をキープし続けること。

### ~コラム 43 ~

# 地獄の戯れ

ここでは、リフからオブリにきれいに移るための 練習法を2つ紹介しよう。1つ目は、リフを1 小節弾いたら次にオブリの最初の 1 音だけ弾くと いうもの (図 2-a)。リフからオブリへ切り替え る時は、あせるあまり押弦が粗くなったり、リズム が前のめりになることがある。しかしこの練習をく り返すことで、正確な押弦とリズムを養うことが できるのだ。2つ目は、リフを弾いたあとオブリ の最初の音を4分音符で4回弾く練習だ(図 2-b)。こうすることで、オブリ中のリズムを確認 \_\_\_\_ することができる。こういった練習を続ければ、 どんなオブリ・フレーズでもリズムが乱れないギタ リストになれるはずだ。

## すぐに効く! 楽々オブリ・トレーニング・フレーズ

#### 図2-a リフ→オブリ切り替え練習フレーズ



#### 図2-b オブリのリズム確認フレーズ

